

平成21年度第2回鳥取市政懇話会 全体会議事概要

1 日 時 平成21年11月17日(火)午後2～3時

2 会 場 鳥取市役所本庁舎6階全員協議会室

3 出席者 鳥取市政懇話会委員(30名)
市長、両副市長ほか関係部、課長など

4 会議概要

(1) 市長あいさつ

- ・定住自立圏構想は、本市が中心市となり、1市4町(岩美町、八頭町、若桜町、智頭町)の連携により、財政状況が厳しい状況の中で、地域の資源を活かした地域活性化の取組。近隣地域と連携して取組むことは、今後の市民生活を守るため、重視すべきこと。
- ・山陰海岸ジオパークの取組や高速道路の整備など、各地域との横の連携の重要性が高まっている。
- ・政権が交代し、マニフェストの実践に向けた財源の確保のための調整により、市民生活や地域の活性化の妨げとなる可能性がある。今後も、本市が発展するうえで必要な財源が確保されるよう主張を続けていく。

(2) 議事概要

定住自立圏構想の推進について(企画推進部)

田中次長：取組等についての次の項目を説明

- ・定住自立圏構想の概要について
- ・定住自立圏構想に対する市の取組について
- ・今後のスケジュールについて
- ・共生ビジョン懇談会の設置について

意見交換

委員：若桜鉄道の利用促進の具体的な施策を考えているのか。

例えば、自家用通勤者に若桜鉄道の利用日を設けるなど。

これは、環境問題への対策ともなる。

市長：若桜鉄道の利用促進は、1市2町(若桜町、八頭町)が中心となって呼びかけること。若桜鉄道利用者のバス代金を割引する制度なども一つの方法。

委員：教育分野の取組を加えるべき。体験教育は連携できること。
教育長：中心市として、役割は多くあると考えている。定住自立圏の協定に盛り込みたい。

委員：山陰海岸ジオパークは、豊岡市、福知山市が参加している商工会議所の交流会でも話題となった。推進には、協力、ネットワークづくりが大切。

市長：山陰海岸ジオパークへの世界ジオパークの加盟には、ガイドをはじめ地域住民の認識の高さが重要。組織として、岩美町と連携し、民間団体と一緒に立ち上げたい。

(2) その他

5 配布資料

会議次第

定住自立圏構想の推進について

平成21・22年度 第1回鳥取市政懇話会について

鳥取市政懇話会条例

平成21・22年度 鳥取市政懇話会委員名簿(部会別)